

試聴会・訪問記掲載

河口無線ハイファイディリティ試聴会報告(2015.9.19)

河口無線で開催されたブライトーンのネットワークプレーヤー「[BT-NMP-01](#)」の試聴会に行ってきました。ネットワークオーディオには未着手ですが、将来の目標として興味がありましたので参加しました。

<使用機材>

以下のような豪華なラインアップで計画されていました。



ブライトーン ネットワークミュージックプレーヤー BT-NMP-01 ¥194,400



LUMIN ミュージックサーバー L1 HDD 2TB 仕様¥143,000
SSD 256GB 仕様¥160,000
SSD 512GB 仕様¥176,000



ヴィオラ プリアンプ カデンツァ ¥2,700,000



ヴィオラ パワーアンプ シンフォニー ¥3,348,000



アバロン スピーカーシステム DIAMOND ¥6,264,000 (ペア)

<試聴経過>



当日のセッティング



BT-NMP-01 LUMIN L1

左上 右上

当日、コントローラーの iPad が、ルーター経由で写真の BT-NMP-01 を認識しなくなったとのことで、急遽 LINN の AKURATE DSM の音を聴きながら、ネットワークプレーヤーの構成や注意点を設計者が解説する次第となってしまいました。BT-NMP-01 について

はネットオーディオ No.19 の P124 に紹介記事がありますし、[ブライトーンのホームページ](#)にも紹介があります。

音の方は残念ながら AKURATE DSM の再生になってしまいましたが、バッハとベートーベンのヴァイオリン協奏曲、ジャズ、チェロソナタなどがかけられ、これまでに LINN のフルラインアップで聴いた音と違い、澄み切ったきれいな音がしていました。恐らくはヴィオラのアンプとアバロン DIAMOND の音が上質であるためと思われます。解説の方は、ネットワークオーディオの構成、すなわちプレイヤーと NAS とルーターおよびコントローラーとなるパッドなどの役割と構成上の注意点の話がありました。ネットワークオーディオのハードルは、それらの間の相性で、メーカーがきちんと確認を取っているか、NAS やルーターの取り扱いに習熟しているかが問題になるということでした。また、NAS については、一般的には多機能を要するため DLNA (Digital Living Network Alliance) ですが、LUMIN の NAS は音楽に特化するため、動きが軽い UPnP (Universal Plug and Play) であり、こういったところに注意することも必要とのことでした。また、NAS の電源も音質に効くという話もありました。

BT-NMP-01 はネットワークオーディオのプレイヤーですが、USB のポートがあつてここに USB メモリーや USB2.0 の HDD を接続すると、そこからファイルを読み出して再生することも可能とすることでした。LUMIN の NAS と組み合わせる場合は iPad の LUMIN 専用コントローラーが必要ですが、USB からの再生は無料ソフトで iPad 以外でもコントロール可能とすることでした。BT-NMP-01 は DSD に関しては 2.8MHzDSD を PCM に変換して再生できるということでしたが、現在開発中の BT-NMP-01s は旭化成の新しいチップを使い、11.2 MHzDSD の Native 再生を可能とすることを目標としているとのことでした。USB 経由で汎用のコントローラーにより 11.2 MHzDSD までの再生が可能ということなら、メリットも広がるので大いに関心があります。

以上